

幼児教育コーディネーター概論

第8講 「新たな学びと教育リソース」

久世 均(岐阜女子大学)

第8講 「新たな学びと教育リソース」

【目的】

日本では1980年代から「自己教育力」が推奨され、「自ら学び自ら考える力」が重視されている。このことは、他律的でなく自律的な学習態度の教育が重要になっている。ここでは、この実践的資質能力の向上と、反転授業での活用を想定した教育リソースの開発について考える。

【学修到達目標】

- 反転授業について具体例を挙げて説明できる。
- 反転授業について具体的に授業設計ができる。

第8講「新たな学びと教育リソース」

1. 新たな学び

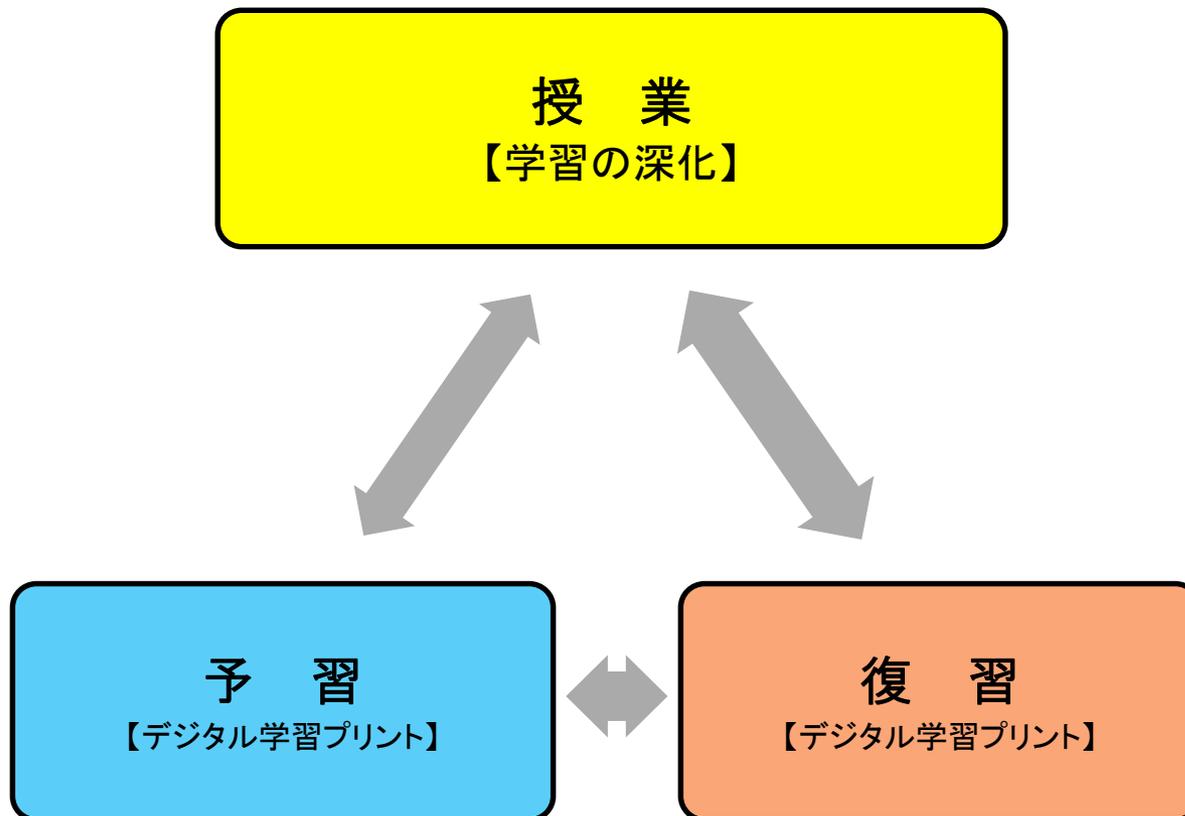
(1) 反転授業

反転授業とは、授業と宿題の役割を「反転」させ、授業時間外にデジタル教材等により知識習得を済ませ、教室では知識確認や問題解決学習を行う授業形態のことを指す。

- 反転授業の導入によって、学習時間を増やし教室内で知識を「使う」活動を促し、学習の進度を早め学習効果を向上させることが期待される。
- 一方で、反転授業の実施にあたっては、学校や家庭におけるICTの環境整備やオープン教材の普及、自習時間の確保や教員の力量形成が課題となる。

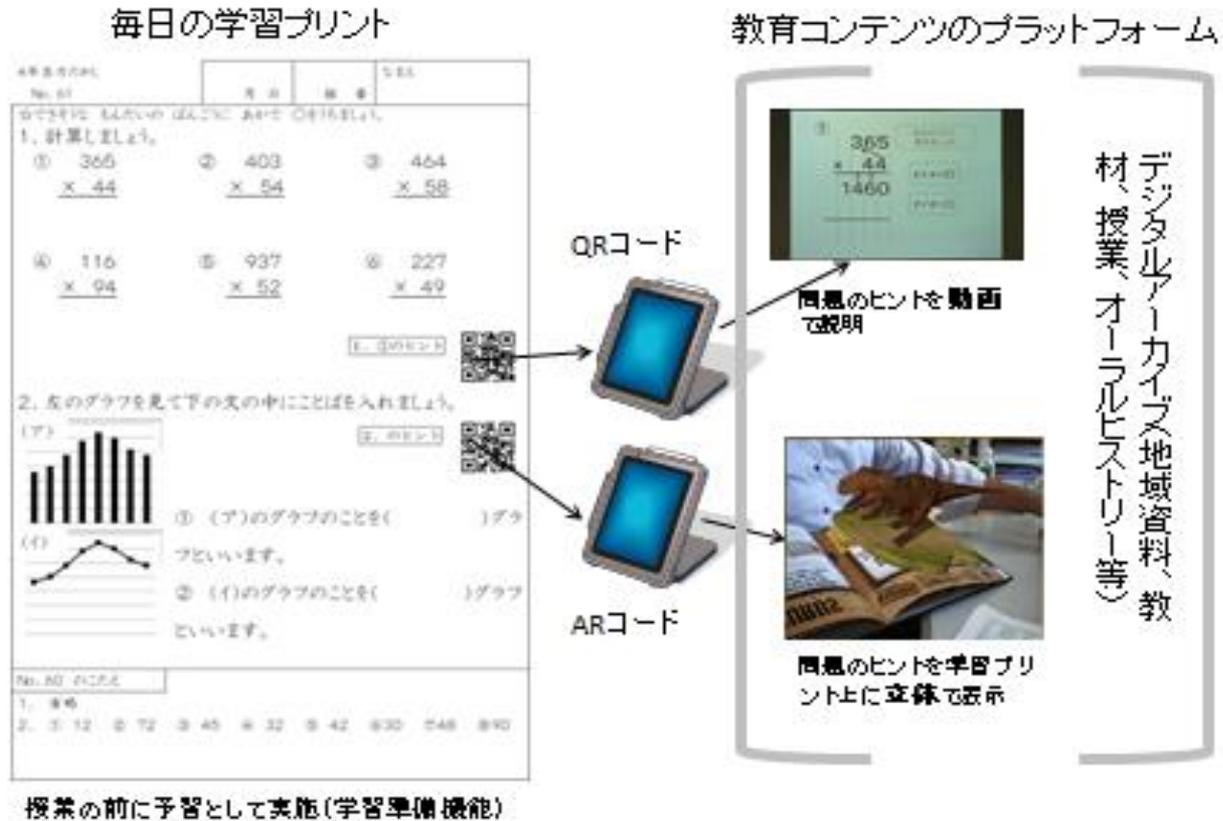
第8講 「新たな学びと教育リソース」

3. 新たな学びと教育リソース



第8講 「新たな学びと教育リソース」

4. デジタルアーカイブと教育リソースの連携



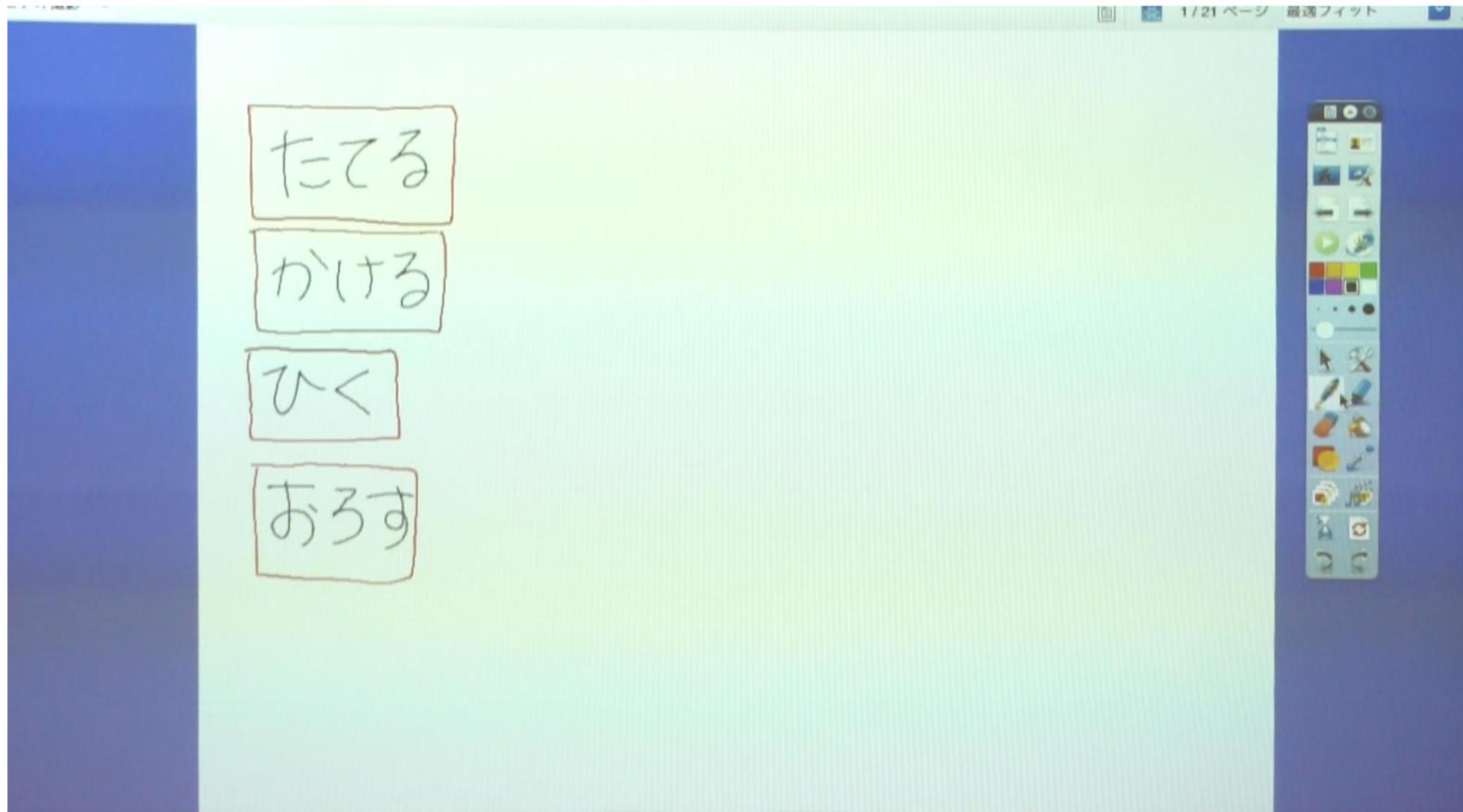
第8講 「新たな学びと教育リソース」

4. デジタルアーカイブと教育リソースの連携



第8講 「新たな学びと教育リソース」

4. デジタルアーカイブと教育リソースの連携



課題

1. 反転授業とその効果と可能性について説明しなさい.
2. 反転授業の学習展開について具体的に説明しなさい.
3. 反転授業の学習展開について具体的に指導案を作成しなさい.

第8講 「新たな学びと教育リソース」

【目的】

日本では1980年代から「自己教育力」が推奨され、「自ら学び自ら考える力」が重視されている。このことは、他律的でなく自律的な学習態度の教育が重要になっている。ここでは、この実践的資質能力の向上と、反転授業での活用を想定した教育リソースの開発について考える。

【学修到達目標】

- 反転授業について具体例を挙げて説明できる。
- 反転授業について具体的に授業設計ができる。

幼児教育コーディネーター概論

第8講 「新たな学びと教育リソース」

久世 均(岐阜女子大学)